

平成27年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立釜小学校

教諭 勝又 健博

1 はじめに

「納税」は、「勤労」「教育」とともに日本国民の三大義務として定められており、日本国憲法には「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」と明記されている。また、日常生活に欠かすことのできない様々な行政サービスは、国民が納めている税金によって維持・運営されている。国や地方公共団体に納める税金は、我々国民が快適に生活するうえで必要不可欠なものであるといえる。しかしながら、児童にとって日常頻繁に目にしている道路や交通標識、警察や消防、ゴミの収集などは生まれた時から身近にあり、それらが税金を基にした行政サービスの一環として存在するという意識は少ない。さらに、児童にとって身近な税金である消費税に対しては、「商品を購入する際に付加されるもの」「商品の定価を高くする」というイメージをもっているのが現状である。これは、納められた税の仕組みやどのような目的で税金が支出されているかについての知識が不足している為だと思われる。

そこで今回の租税教育を通して、税金とはどのようなもので、どのように使われているのかや、税金がないとどのような生活への影響があるのかという学習を通して税金の必要性について理解させたい。

2 児童の実態

本学級は第6学年男子18名、女子20名、計38名で構成されている。学習においては、集中して説明を聞き、取り組む姿が見られる。特に社会科の歴史分野については歴史上の人物や歴史上の事件や出来事に対して進んで理解しようという意識を持っている。

事前に税金について知っていることを尋ねたところ、「消費税」「税込」「税務署」「納税」程度であった。普段の生活において税金を意識することはほとんどないと考えられる。また、税金については、普段の生活から得られる情報からその存在は知っているものの、税金の種類や消費税以外の納税の仕方、どのようなことに支出されているのかについて意識することなく生活していることがうかがえる。

3 社会科との関連

第6学年では、社会科の歴史分野、公民分野において「税金」について学習する。

(1) 日本の歴史

○天皇中心の国づくり「大化の改新と天皇の力の広がり」「仏教の力で国を治める」

- ・国を治めるためにどのような法律が作られ、物の流通があったかについて調べる。

(律令, 租・調・庸)

- ・都のにぎわいとそれを支える地方の人々の暮らしについて調べる。

(重い税の負担)

○3人の武将と天下統一「大阪城と豊臣秀吉」

- ・豊臣秀吉は、天下統一をするために、どのようなことを行ったのか調べる。

(太閤検地)

○江戸幕府と政治の安定「人々のくらしと身分」

- ・家光を中心とする江戸幕府が、どのように百姓や町人などを支配したのか調べる。

(年貢, 五公五民)

○明治の国づくりを進めた人々「大久保利通と明治新政府の改革」

- ・欧米に学んだ大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのかを調べる。

(地租改正)

(2) わたしたちの生活と政治

○子育て支援の願いを実現する政治「税金の働き」

- ・子育て支援センターを建設，運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。
- ・税金の集められ方と使われ方について調べる。
- ・税金がなかったらどうなるのかを考え，税金の役割について話し合う。

○震災復興の願いを実現する政治「災害復旧に向けた国の支援」

- ・災害からの復旧・復興に向けた国の取り組みを調べる。

(補正予算)

4 指導にあたって

指導にあたっては，次のことに留意して学習を進めていきたい。




- 社会科の学習の中で，税金にかかわる単元を意識して取り上げ，税金に触れさせながら学習に取り組みさせていく。その際，これまでの歴史で存在した税金という仕組みが形を変え，現代社会にも取り入れられていることを意識させていく。
- 税務署に依頼し，ゲストティーチャーとして税理士の方をお招きし租税教室を実施することで，日本にはどのような税金があり，もしも税金がないとしたら日常生活にどのような弊害が起こるのか等の，税に関する専門的な知識を学び，税金の重要性を理解させる。
- 税金について学習することで，今後自分たちはどのように税金にかかわっていかなくてはならないのかを考えさせ，将来，政治や国について考える基礎を養っていく。

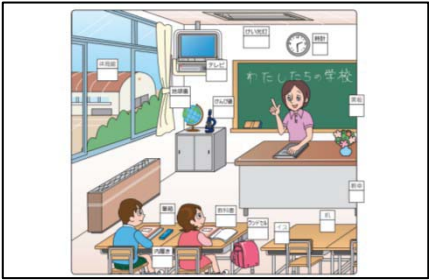
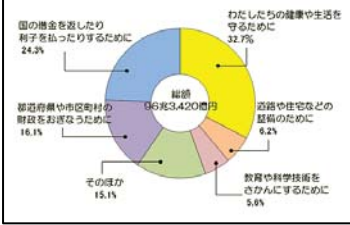
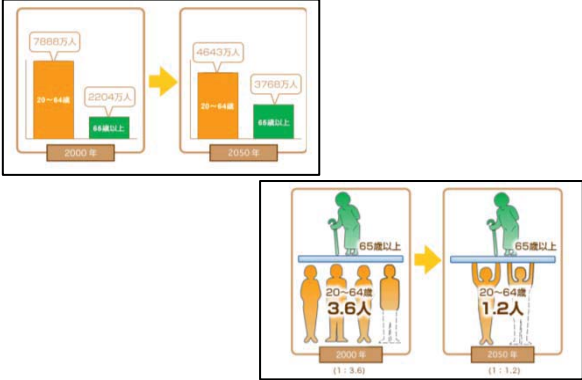

5 指導計画（2時間扱い）

時間	目標	学習活動
業前	・税についての知識や，これまでの歴史に登場した税について確認をする。	・日常生活を通して，知っている税について確認する。 ・奈良時代から始まる「租・調・庸」，江戸時代の「年貢」等，これまで学習した税と，今後社会科で学習する主な税に関して知らせる。
1	・日本にはどんな税金があり，税金は何に支出されているのかを知る。 ・税金がない社会は，どのようなものになるのか考える。	※石巻税務署に依頼し租税教室を実施。ゲストティーチャーによる指導。 ・DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を活用する。
2	・租税教室で学習した内容の確認を行い，自分たちの生活と関連させながら，税と自分たちのくらしが密接にかかわっていることを理解する。	※小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」，国税庁「税の学習コーナー」，財務省「もっと知りたい税のこと」を活用する。 ・少子高齢化に伴う，これからの社会での税の重要性について理解させる。 ・所得税，法人税の税収の低下と消費税とのかかわりについてグラフの読み取りから考えさせる。

6 実践内容

【第1次 税とは何だろう?】 9月24日(木) 実践

学習活動 (○主な発問 ・児童の反応)	主な支援
<p>1 税金の種類について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「知っている税の種類を発表しましょう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・「消費税」「税務署」「税込」 ○「日常の生活ではこれらのような税があります。」 ○税の種類について話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・50種類もあるのか。 <p>2 各国の消費税を比較するグラフを提示し、消費税について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日本は8%です。このグラフは何のグラフですか。」  <ul style="list-style-type: none"> ・消費税 <p>3 日本の年間予算と税収を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の予算は約96兆円に対し、税金による収入は約55兆円です。足りない分は借金で賅われています。 <p>4 1億円のレプリカを持ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重い。 ・こんなに大きいのか? ・すごい。 <p>5 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もし税金がなかったらどうなるでしょうか。」 <ul style="list-style-type: none"> ・消防車や救急車が来なくなる。 ・道路が作られない。 ・どんなことにも高いお金がかかる。 <p>6 税金についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「税金が私たちの生活を支えているのです。」 	<p>○子どもたちから出なかった税金についてもどんな税なのかの説明を加え、紹介する。</p> <p>○「エリートサラリーマン 山本君の一日」のスライドを通して、成人男性の一日の生活で、どのような税を支払っているのかについて紹介する。</p> <p>○消費税を導入している国は多いが、国によって、消費税の税率が違うことを知らせる。</p> <p>○不足分の税収を東京タワーの高さと比較することで、実感を伴った理解につなげる。</p>  <p>○映像資料を通して、税金によって日常生活の様々なものが支えられていることに気付かせる。</p>  <p>○税金の必要性を理解させる。</p>

学習活動 (○主な発問 ・児童の反応)	主な支援
<p>1 税金の使われ方について振り返る。</p> <p>○「税金はどのようなことに使われているか思い出してみましょ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「消費税」「たばこ税」「酒税」「固定資産」「自動車税」など <p>2 教室内のものの中で、税金によって支出されているものを考え、身近なところで税金の恩恵を受けていることを知る。</p> <p>○「教室内で税金が使われているのは何でしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机やイス ・体育館や校舎 ・教科書 	<p>○前時の内容を確認し定着の度合いを確認する。</p> <p>○税金は3種類に大別できることを伝え、分類させる。(所得に対する税, 消費に対する税, 資産等に対する税)</p> <p>※財務省「もっと知りたい税のこと」より</p> <p>○国税庁「税の学習コーナー」にある国の支出のグラフを提示し、教育に支出する点に着目させる。</p>  <p>○小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を使用する。</p> <p>○小学生一人当たり、年間約86万円が税金によって賄われていることを知らせる。</p>
<p>3 消費税と所得税, 法人税の税収の推移を知り、消費税について考える。</p> <p>○「どうして税金が高くなるのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金でいろいろなものを作っているから。 ・高齢者が多くなったから。 ・国がたくさんお金を使っているから。 <p>○所得税や法人税, 消費税の税収の推移のグラフです。どんなことが分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所得税や法人税の税収が減っている。 ・消費税が上がってきている。 	<p>○国税庁「税の学習コーナー」にある少子・高齢化問題についての図を提示する。</p> 
<p>4 税についての学習を振り返り、感想を書く。</p>	

7 成果と課題（成果○、課題●）

- 租税教育を実施したことで、税金が自分たちの生活に必要不可欠のものであるという認識を育てることができた。また、児童の税金に対するイメージの改善にも有効であった。
- 今回の実践で活用した「わたしたちの暮らしと税金」や、ゲストティーチャーである税理士の方のご協力を頂いた租税教室は児童にとって分かりやすい内容であり、税金に関してよりよい児童の理解につながった。
- 様々な税金の種類を知り、さらに税金によって身近にあるたくさんの公共物が整備されていることを知り、税金は自分達の生活に密着しているものであるという意識を育てることができた。
- 社会科の時数のみでは、税について詳しく学習することができない状況である。年間指導計画に位置付け、生活に密着している税についてよりよい理解を図るためにも計画的に実践していくことが必要となってくる。

8 実践を振り返って

今回、租税の学習を行い、あまりにも子どもたちが税に対して無知なことに驚いた。同時に租税教育の必要性を強く感じた。現在、大人でもなかなか税金の仕組みを理解しているとは言えないと思われる。社会科で税について触れることはあっても、今回のように詳しく説明してもらうことはなかなかない。小学校のうちから、少しずつ税金について理解させていくことで、子どもたちは、将来大人になり社会を担う立場となった時に、納税がなぜ必要なのかを意識して税金を納めることができると考える。私自身も、大変良い勉強になった。このような学習の機会をいただけたことに感謝している。

9 児童の感想

- ・税金はなくなると、人々が生活していくことが大変になる。税金は、国のみんなのために使われていることが分かった。
- ・消費税はいらないうちかと思っていましたが、今回の学習を通して、税はなくなると大変なんだなあと感じました。
- ・税金の種類がたくさんあってびっくりしました。国の予算や支出の割合をきちんと覚えたいです。
- ・税金がなくなると大変なことになるなどということが分かりました。いろいろ、税金のことで新しいことを知ることができて楽しかったです。
- ・税金はこの世の中で大切なものということが分かりました。この勉強ができて、とてもためになったと思います。
- ・税金は思っていたよりたくさん種類があってびっくりしました。それから、税金がなくなると大変なんだなあと思いました。税のことをよく知ることができてよかったです。これからも税についていろいろなことを知っていきたいです。
- ・税金がなくなるととても大変なことが起こったりするので大変だなと思いました。そして、うちの人は様々な税金を払っていることが分かりました。